

情報連絡員報告・10月分

製造業・非製造業ともに「売上高」、「業界の景況」が悪化

〈東京都中央会〉

10月の情報連絡員報告によると、製造業、非製造業ともに売上高と業界の景況DI（前年同月比）値が悪化した。なかでも製造業の業界の景況と非製造業の売上高は10ポイント以上悪化した。「業界の声」からは前月に続き改正建築基準法の影響（「確認申請の厳格化の影響で仕事が停滞」、「確認申請手続きの遅延により出荷が急減」、「審査の遅れで建材需要に影響」）や原油価格高騰と価格転嫁問題に関連する報告が多数寄せられた。

製造業64人、非製造業86人、計150人の集計

各項目のDIの動き（前月比）（↗ 好転 → 不変 ↘ 悪化）

	売上高	DI	在庫数量	DI	販売価格	DI	取引条件	DI		
全体	↘	-35.3	↘	-12.8	↗	3.3	↘	-20.0		
製造業	↘	-42.2	↘	-4.7	↗	7.8	↘	-17.2		
非製造業	↘	-30.2	↘	-21.3	↗	0.0	↘	-22.1		
	収益状況	DI	資金繰り	DI	設備 操業度	DI	雇用人員	DI	業界の 景況	DI
全体	↘	-44.7	↗	-20.7	→	-23.4	→	-8.7	↘	-40.7
製造業	→	-46.8	↗	-20.3	→	-23.4	→	-6.3	↘	-43.7
非製造業	↘	-43.0	↗	-20.9			→	-10.5	↘	-38.4

業界の声 (平成19年10月分)

【製造業】

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食料品	小麦粉製造業	国際小麦相場の高騰が続き、過去の常識や感覚を一足飛びに超えた状態が続いている。関係業界も一斉に値上げを発表し、国の売り渡し麦価の値上げ幅の見直しを協議していく不安定な状況にある。
繊維・同製品	織物業	クールビズ終了で前年並みに回復してきた。収益状況の悪化で販売価格を高め設定するが、売上本数の減少等で合計額は前年と変わらない。
	帆布製品製造業	10月になり、やっと前年同月分より売上高が増加した。今までの減少分を埋め合わせるためには今後の景況が大変気がかり。固定経費の削減につとめる一方で、売上の増加はさほど見込めない。
	繊維製品製造業	原油価格の高騰で、燃料コストさらには原料や染色加工メーカーの加工料金が引き上げられ、不況感が顕著となってきた。
	帽子製造業	中高年向けの高級な帽子が順調に推移しています。アクティブシニアと呼ばれる世代が余暇をアウトドアに向け、旅行・登山・スポーツ等に帽子が一役買っているように思われます。
木材・木製品	建具製造業	建築基準法の改正に伴う確認申請の厳格化の影響で、仕事が滞っている。秋の需要に不安材料がある。
出版・印刷	シール印刷業	12月からタック紙メーカー各社が一斉に値上げするとのアナウンスがあり、その対応に苦慮している。小規模零細企業が多く、値上げ分を価格転嫁できない。
	印刷業	今年度も9月から組合加入増強キャンペーンを推進しているが、現在まで効果はあがっていない。ただ、脱退者数は昨年より減少しており、減り方が緩やかとなっている。
化学・ゴム	塗料製造業	製品値上げが原料価格の上昇に追いつかない状況で、原料価格はさらに上昇することが予想される。建築資材分野では、改正建築基準法(確認申請の厳格化)の影響で物件受注が停滞している。
窯業・土石製品	コンクリート製造業	改正建築基準法による建築確認申請手続きの遅延により、8月以降出荷が急減し、対前年比15%減となっている。
	コンクリート製品製造業	公共事業費の縮小が続いているので売上が減少している。業界の特性として需要期の売上増で借入金の返済をする資金繰りなので、資金ショートへの懸念が増加している。
鉄鋼・金属	非鉄金属製造業	需要の中心となっていた自動車関係の受注が薄くなってきた。先行きが懸念される。
	建設用金属製品製造業	銅・ステンレス等の価格上昇分を売価に転嫁できない。また、建築基準法改正問題の影響(受注減少)が懸念される。
	金属熱処理業	当業界は自動車部品の仕事が多いが、ここに来て海外自動車工場の現地調達(熱処理を含めて)が本格化しており、その影響が国内の需要に及びつつある。
	電気めっき業	回復局面に移行したと考えられるが、依然として廃業事業所が続出している。業況回復の力強さは感じられず、先行きは不安な状態にある。
一般機器	厨房機器製造業	ステンレス等の材料高騰から仕入価格の値上がりが顕著だが、製品価格に容易に転嫁できずにいる。
電気機器	配電盤機器製造業	建築基準法の改正による建築確認の遅れの影響が出ており、受注量は確保されているものの、納期に不透明感がでている。今後、納期が短期に集中することがないか心配される。
その他製造	紙製品製造業	石油製品の価格高騰で“紙が足りず供給がうまくいっていない”状況にある。生産性にも波及しているため、今後は原紙値上げ分を転嫁する必要を感じる。
	ガス圧接業	依然として受注単価は思うように上がっておらず、利益の確保は横ばい状態で支払い額の増加から資金繰りが困難となっている。

業界の声 (平成19年10月分)

【非製造業】

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸売業	電線卸売業	前年の勢いを上回っていた市況は10月に入り、安定してきており、思ったほど伸びていない。昨年並みからやや悪化に。工事物件の伸び悩みも心配される。
	洋紙卸売業	メーカーの値上げがトンあたり10円に対して、卸は6円程度しか価格に転嫁できず、組合員の収支は悪化している。
	建設資材卸売業	改正建築基準法の施行に伴う審査の遅れ等で、建材需要に影響がでている。
	青果物卸売業	前年対比124%と取扱高は伸びたが収益が上がったわけではなく、商品の単価が上がったためです。
	伸銅品卸売業	原料費が下降局面に入り、高値仕入れの製品を値を下げて販売せざるを得なくなっている。
	織物卸売業	廃業、倒産にいたる組合員が2、3社でた。業績不振の影響は体力不足の零細企業にもろに響く。今年は天候不順でニット製品にとって厳しい状況が続いている。
	玩具卸売業	世界的な金融市場の混乱から海外経済の先行き不透明感が生じ、国内経済も不安定であることから、年末需要期への影響が懸念される。
小売業	木材小売業	景気の後退がささやかれる中、物件が減少傾向にある。9月よりは若干であるが売上が伸びたものの、先行きには明るさが見えてこない。厳しい状態で推移すると思われる。
	豆腐小売業	原料大豆の価格は前年同期の2倍で推移している。副資材も同様で、収益減少で家族型の町店は廃業に追い込まれている。味にこだわり、美味しい豆腐造りで生き残りを検討していく。
	包装材料小売業	9月からの値上げラッシュで通常の営業活動は「値上げ折衝」のみという異常状態が続いている。また、組合に關しても年会費が払えず退会をする組合員が続出している。
	調味料小売業	ビールの値上げ発表があり、組合員の資金繰りが心配される。消費者離れが加速されるのではないかと。
	飲食店等	参加加盟店の売上げ・カード取扱高は物販・飲食とも、前年比若干の増加となり多少の安定感をもてるようになった。一方で売上は不変で、カード売上増・現金売上低下も考えられ、収益面での不透明感は否めない。
	ペット小売業	前年比で好転は全くない。大型店でも犬・猫商品は並んでいるが小鳥関係商品は少なくなってきた。小鳥専門店では後継ぎがおらず、先行きが心配される。
	塗料小売業	原油価格アップにとともに、仕入価格上昇が8月より本格化している。ユーザーへの価格転嫁がむずかしく、収益は悪化傾向。
	二輪自動車小売業	オートバイ業界ではアウトターマフラー問題をはじめ、駐車違反に対する問題など販売に逆行する規制が大きな問題となっている。
	電気機械器具小売業	10月になり、テレビの販売量が減少。冷蔵庫・洗濯機等は堅調に推移。売上高の前年同月比は微減、商品販売量は量販店の価格攻勢のため、拡大は難しい状況にある。

業界の声 (平成19年10月分)

【非製造業】

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
商店街	秋葉原	ウインドウズピスタの売上が期待ほどでなく、パソコン関連は伸び悩み続く。
サービス業	洗濯業	10月は夏服で過ごせる日が続き、消費者が衣替えの時期を迷ったものと思われ、クリーニング需要がぱっとしなかった。10月は秋の繁忙期だったので、1ヵ月遅れの需要拡大を期待する。
建設業	管工事業	建築基準法の改正による建築確認の遅れで、新設着工件数は減少している。
運送業	貨物自動車運送業	燃料の高騰が最大の懸念である。収益面と資金繰りの面で厳しい状況にある。燃料費は15～16%に達しており、この部分での値上げは大きい。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
繊維・同製品	帆布製品製造業	行政指導で石油関連の物価上昇を一日も早く、くい止めるようお願いしたい。
鉄鋼・金属	建設用金属製品製造業	建築基準法改正問題への早急な対応をお願いしたい。
その他製造	スポーツ用品製造業	スポーツ省の設置を期待する。
小売業	豆腐小売業	大手や中堅の量産豆腐が閉店間際のスーパーに山積みされている。たくさん売れ残る過剰生産を中止して、限りある資源を大切にほしい。
サービス業	複写業	価格の安定化を実現する政策を望む。物価(紙・材料)の上昇が販売価格に転嫁できない。
運輸業	貨物自動車運送業	燃料の高騰に対する政策面での支援を要望する。燃料関係の暫定税率の撤廃を求めます。

